

## 水循環再生モデル事業について

水循環の再生には、環境、治水、利水、などの限定した側面を捉えて解決を図る取組を実施するだけでなく（「場の視点」）、流域の一連の水の流れを考慮し、流域全体で水循環の機能に着目した取組を総合的に実施すること（「流れの視点」）が必要である。

このため、人と水とのかかわりを念頭に置いた様々な取組を県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して、水循環再生に向け着実な推進を図ることとしている。

平成19年度は、水循環の再生につながる環境技術の実証モデル事業を実施するとともに、水質の浄化や水量の確保など水循環の持つ機能や、森林の整備・保全など水循環再生につながる特定のテーマに関連する活動で、地域協議会が今後取り組むとする地域のニーズと特性にあった先導的な取組に対し、その効果的な実施手法を確立するためのモデル事業を実施する。

### （1）環境技術実証モデル事業

水田の冬季湛水（安城市内、協力：明治用水土地改良区）

### （2）地域活動モデル事業（地域協議会ごとに実施）

	各地域協議会で実施するモデル事業
尾張	<p><b>土岐川・庄内川流域ネットワーク</b></p> <p>矢田川流域の上・下流協働により、「身近な水辺再生と川の健康診断」と題し、清掃活動や水循環再生指標を使ったモニタリング調査などを実施</p> <p><b>大山川を愛する市民の会</b></p> <p>大山川流域の丘陵地の湧水などを活用した、地域住民による田園ビオトープ作りに向け、水生植物の保護・育成などの活動を実施</p>
西三河	<p><b>おかげ自然体験の森・きこりの会</b></p> <p>岡崎市を中心とした乙川流域水源林の森林整備・保全促進のための人材育成と間伐などによる森林整備活動</p>
東三河	<p><b>東三河流域フォーラム</b></p> <p>&lt;東三河水循環再生フォーラム&gt; 全6回</p> <p>テーマ：森・川・海でつながる地域</p> <p>豊川流域における、水循環の現状、動植物、水文化などについて、学識者による講座開催や水循環・水文化の理解を深めるための現地見学会、公開シンポジウムなどを実施</p>